

はじめに

誰も自殺に追い込まれることのない

「こころ温かな唐津市」を目指して

平成18年10月に自殺対策基本法が施行されて以降「個人の問題」と認識されてきた自殺は「社会の問題」と広く認識されるようになりました。国を挙げて自殺対策が総合的に推進された結果、自殺者数は減少傾向にありますが、それでも毎年2万人を超え、楽観できる状況ではありません。

自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、その背景には病気、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、孤立などの社会要因があることが知られています。

このため、自殺対策は、社会における生きることを阻害する要因（自殺のリスク）を減らし、生きることの促進要因を増やすことを総合的に推進することが重要となります。

本市では、第2次唐津市総合計画の基本理念の1つに「生涯を通じてこころよく暮らせるまちづくり」を掲げています。誰も自殺に追い込まれることのない「こころ温かな唐津市」を目指し自殺予防を推進してまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年3月

唐津市長 峰 達郎

